

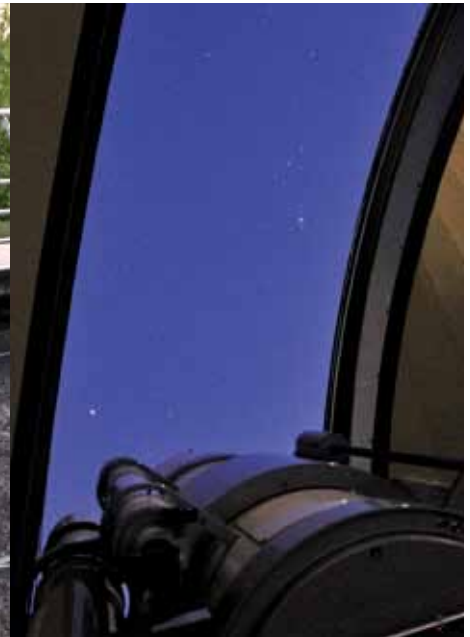
小郡 星空観測記

小郡市
地域おこし
協力隊
活動報告
コラム



笹月 将
(ささづき しょう)

1995年、福岡県生まれ。
広島市のこども文化科学館での勤務歴があり、子ども向けの天体教室・観測会に関わる。趣味は読書、チェス、将棋。好きな太陽系惑星は海王星で、未だ謎多き深い青の惑星に魅力を感じます。



▲生涯学習センターの大型望遠鏡

6月は「望遠鏡を使ってみよう講座」を開催します

令和6年度は、昨年実施した小郡と七夕にまつわる「夏の星空講座」と太陽系の惑星を紹介した「冬の星空講座」に加え、6月に「望遠鏡を使えるようになるう」、9月に「ベットボトルロケットを飛ばしてみよう」などを新たに企画中です。6月の講座は、生涯学習センター1天文台にある小型望遠鏡などを実際に使い、望遠鏡の使い方などを学ぶ講座にしたいと考えています。

さらに、望遠鏡＋スマートフォンを使った月の撮影方法を紹介。小郡天文スタッフが独自に作ったアイテムと晴れた星空があれば、スマートフォンでも月のクレーターの写真が撮れます。他にも「望遠鏡はどういう仕組み？」「どのような種類があるの？」といった疑問に答えます。6月の講座の案内は、広報おごり6月号に掲載しますので、お楽しみに！

笹月隊員の星空予報

5月に見える星空

春の星座たちを見つけるには、まず「北斗七星」を探してみましょう。北の空高くに、スプーンのような形に並んでいる7つの星が「北斗七星」。スプーンの持ち手をそのまま東の空へ伸ばしていくと、オレンジ色の星・うしかい座の「アークトゥルス」が見つかります。

さらにアークトゥルスから南の空に曲線を伸ばしていくと、今度は青白いおとめ座の「スピカ」という星が見つかります。日本ならではの「春の大曲線」を使って、春の星座をぜひ探してくださいね。



©アストロアーツ

5月中旬 21時
小郡市の星空

